

日本唯一の宇宙開発機関である宇宙航空研究開発機構（JAXA）や市などが主催するタウンミーティングは8月26日、市文化会館（Zホール）で開かれました。

JAXAは、平成15年10月に宇宙開発事業団、航空宇宙技術研究所、宇宙科学研究所の3つの機関が統合して誕生。タウンミーティングは、JAXAの紹介と広く各層の意見を聞く目的で、16年度から開催を希望する

JAXAがタウンミーティング

都市で行われているものです。国立天文台があり、市民の天文活動も活発な本市では、ことし5月に開催の申し込みを行い、東北初のJAXAタウンミーティングが実現しました。

当日は市民や天文関係者など約40人が参加。参加者からは「地方に住む子どもたちにも宇宙について興味を持ってもらえるような活動を」などの意見が出され、活発な意見交換が行われました。



専門家と意見を交わす参加者



相原市長から記念品を受け取る菅原さん

ひめかゆ入館者が300万人に

胆沢区若柳にある焼石クアパークひめかゆの入館者が8月27日、300万人に到達しました。記念すべき300万人目の入館者となったのは、宮城県栗原市の菅原勝也さん（46）。ことし5月にひめかゆを利用した勝也さんが「いいお湯だったの」と、今度は家族と一緒に訪れました。

記録の達成を祝ってくす玉が割られ、続いて社長の相原正明市長から300万人目の認定証

と花束、記念品が贈られました。菅原さんは「突然のことでしたが、うれしかったです。今日ばかりでいいです。今日はゆっくりしていきます」と予期せぬ出来事に笑顔を見せていました。

ひめかゆのオープンが、平成3年6月15日。平均すると1年に約20万人が利用したことになります。お湯の評判も良く、市外からの入館者ももちろん、地元住民に愛されていることが好調の秘けつようです。

市の出来事から



江刺体育文化会館

胆沢文化創造センター



自覚新たに 晴れて大人の仲間入り



成人式

帰省客でにぎわう8月15日、江刺・前沢・胆沢・衣川の4つの自治区で夏の成人式が行われ、合わせて741人が出席しました（水沢区の成人式は来年1月に開催）。会場にはスーツや色鮮やかなドレスを身に付けた新成人が集い、久しぶりの再開に会話が弾む姿があらこちらで見受けられました。



衣川社会体育館



前沢ふれあいセンター

協力事業所を募集 一災害時応援協定一

市は、災害時における応援協定先（事業所など）を募集しています。

協定内容としては、地震や大雨などによる災害の発生時に、市が協定先に要請した場合、①食料品や日用雑貨品などの生活関連物資の供給（供給分は後日清算します）②避難場所として建物や駐車場の提供③そのほか可能な範囲での協力—などのご協力をいただくものです。

現在、市内大型スーパー2店から申し出をいただいています。ご協力よろしくお願いします。

▶連絡・問い合わせ先…本庁生活環境課消防防災室（☎2111 内線129）



協定書を取り交わし握手をする相原市長と栗原会長

災害時における応急対策等の活動に関する協定書

災害対応に心強い味方

市は災害時の応急対策活動について8月23日、市内各区の建設業協会が構成する建設業五地区連絡協議会（栗原敏男会長、142社）と協定を締結しました。

大規模な災害が発生した場合や発生の恐れがある場合、同協議会がボランティアで公共土木施設などの応急対策を実施するものです。主な活動は①被災情報収集と連絡②障害物除去などの人員確保・重機・資機材の調達③応急仮復旧工事の実施—となっています。

市は大規模災害時に近隣市町村との相互援助協定などを締結していますが、民間団体との締結は初めて。市民の安全確保に大きく貢献するものです。

防災は

—災害に強いまち目指し—

日ごろの備えから

各区で防災訓練実施

9月1日は防災の日。前後して行われた各区の防災訓練には、多くの消防団員や市民が参加しました。8月27日には、旧若柳小学校跡地を主会場に胆沢区防災訓練。続いて9月3日に常盤小学校で水沢区防災訓練、10日には江刺区（江刺総合支所）と前沢区（古城公民館）でも行われました（衣川区は4月実施済）。



屈折はしこ車による建物からの救助訓練（水沢・常盤小学校）



けがの応急手当の指導を受ける参加者（胆沢・旧若柳小学校跡地）

水沢区では、大地震により建物の火災や負傷者が発生したことを想定し、消防署と県防災航空隊による救助訓練や、市民による初期消火訓練などが繰り広げられました。胆沢区では煙体験ハウスが設けられ、子どもたちが煙が充満する火災現場の状況を体験していました。

いざというときは、頭では分かっているも体は動かないもの。日ごろの経験や訓練が大切です。